

辰巳先生ゼミナール／第4日曜日 (各コース1回2時間 10回 計20時間)

中医薬膳学を学ぶ上で、中薬の知識は欠かせません。しかし、生活の中で実際に中薬を使う機会というのは非常に少ないです。本年の辰巳先生のゼミでは、午前中は普段触れることの少ない中薬に触れて、中薬の性味や効能を学び、午後からは、中医体質学を学びながら実際に中薬を薬膳に応用していく実践的な教室となっています。

入学金：60,000円 (本校卒業生免除、関係者相談)

授業料：各コース62,000円

施設維持費：各コース20,000円

合計：各コース142,000円 (本校生各コース82,000円)

2コース合計：224,000円 (本校生164,000円)

時間：毎月第4日曜日 10:00～12:00、13:00～15:00 (各2時間)

受講対象：中医薬膳師資格取得者または同等のレベルの方

先着30名(申込順) (お申込みが5名未満の場合は開講延期いたしますので、予めご了承ください)

教育内容：開講後に教室内のカリキュラムをよくご確認ください。(☆のみ第5日曜日)

	日付	中薬応用 10:00～12:00	中医体質学 13:00～15:00
1	2016年 2月28日	解表類：紫蘇、菊花(野菊)、薄荷、桑葉、金銀花など	中医体質学の概念・形成
2	3月27日	清熱類：生地黄、板藍根、山梔子、決明子、牡丹皮など	中医体質学の分類
3	4月24日	滋陰類：沙参、玉竹、麦門冬、黄精、女貞子など	中医体質学の 体質を判断する方法
4	☆5月29日	補気類①：吉林人参、紅参、西洋人参、太子参、党参など	季節に合わせる 各体質にすすめる食薬①
5	6月26日	補気類②：黄耆、白朮、靈芝、茯苓、甘草など	季節に合わせる 各体質にすすめる食薬②
6	☆7月31日	収斂類：山茱萸、芡実、五味子、烏梅、桑螵蛸など	体質を改善する薬膳 —虚性体質①
7	8月28日	助陽類：肉蓯蓉、杜仲、菟絲子、淫羊藿、桑寄生など	体質を改善する薬膳 —虚性体質②
8	9月25日	理気類：枳殼、仏手、木香、玫瑰花、白豆蔻など	体質を改善する薬膳 —実性体質①
9	10月23日	補血類：生何首烏、当帰、熟地黄、白芍薬、龍眼肉など	体質を改善する薬膳 —実性体質②
10	11月27日	活血類：三七、川芎、丹参、鬱金、鶏血藤など	中医体質学の複合体質

※事情により変更することがありますので、予めご了承ください。

振込先 三菱東京UFJ銀行 神田駅前支店 普通預金 口座番号：2186645
ホンソウキョクセンガクイン
 名義：本草薬膳学院 たつみ なみ

振込み手数料はご負担くださいますよう、お願いいたします。

お申込は**2016年2月12日(金)**までにお申し込み申し上げます。

お申込みをいただいた方には開講が決定次第、ご連絡を差し上げますので、お振込みはその後にお願いいたします。

開講決定後お振込みいただいた授業料は返金しませんので予めご了承ください。(ただし、ほかの研究科に充当することは可能です。ご相談ください)